

11月19日（金）に発生させた信号トラブルの原因と対策について

11月19日（金）に発生させた信号トラブルの原因につきましてお知らせいたします。ご利用のお客様に多大なご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げますとともに、再発防止に努めてまいります。

1 発生日時

2021年11月19日（金）20時34分頃

2 発生場所

JR神戸線 摩耶駅

3 概況

20時34分頃、下り新快速電車（敦賀（17：49）発 播州赤穂（21：55）行、12両編成）の運転士は、摩耶駅から三ノ宮方面へ進出する信号機が異常な現示をしているのを認め停車し、大阪総合指令所へ連絡しました。そのため、JR神戸線では芦屋～西明石駅間で運転を見合わせ、22時37分から京都～西明石間で運転を見合わせました。その後、復旧の見込みが立たないため、京都～西明石駅間で終日運転を取り止めることとしましたが、復旧作業が完了し、1時58分に運転を再開しました。

※駅間停車列車

①三ノ宮～灘駅間（灘駅上りホーム約400m手前に停車）

上り快速電車〔姫路（19：32）発 野洲（22：28）行〕、約500人
お客様には灘駅まで徒歩で移動していただきました。

停車（20：41）、降車開始（23：16）、移動完了（0：32）

②摩耶駅構内（摩耶駅2番のりばに隣接するホームのない線路上に停車）

下り新快速電車〔敦賀（17：49）発 播州赤穂（21：55）行〕、約1,200人
お客様には、2番のりばに停車していた普通電車に移乗していただきました。

停車（20：34）、降車開始（23：14）、降車完了（0：15）

4 原因

- ・信号を制御する装置の伝送に関する基板の不具合と推定されます。
- ・お客様誘導遅れに関して故障修理、仮復旧が見込み通り進まず、誘導判断が遅れたためです。

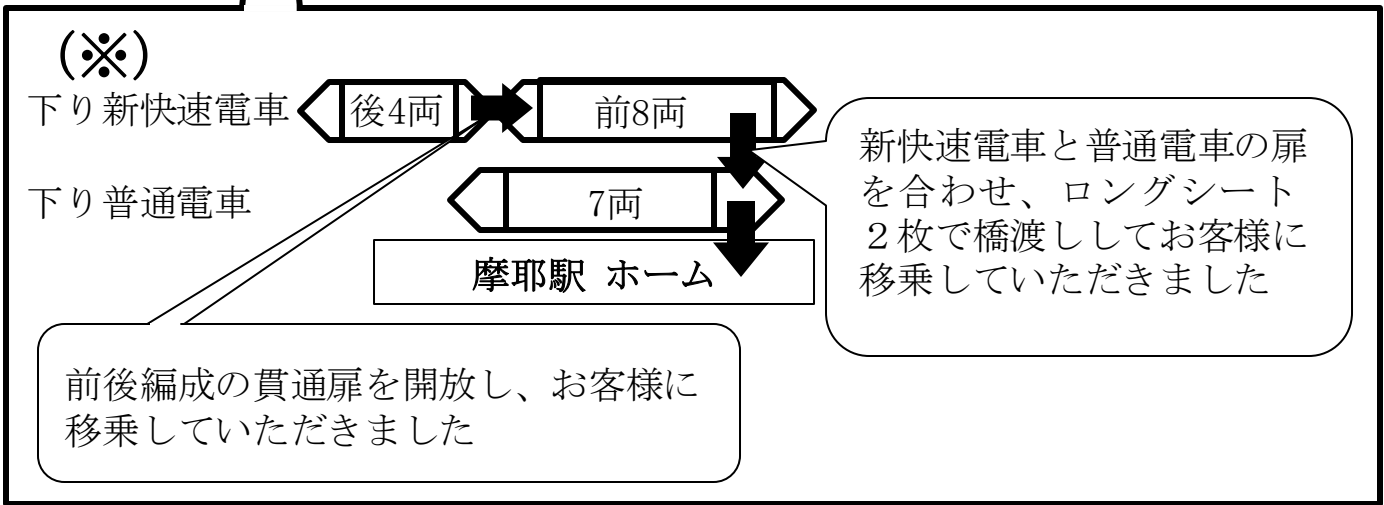
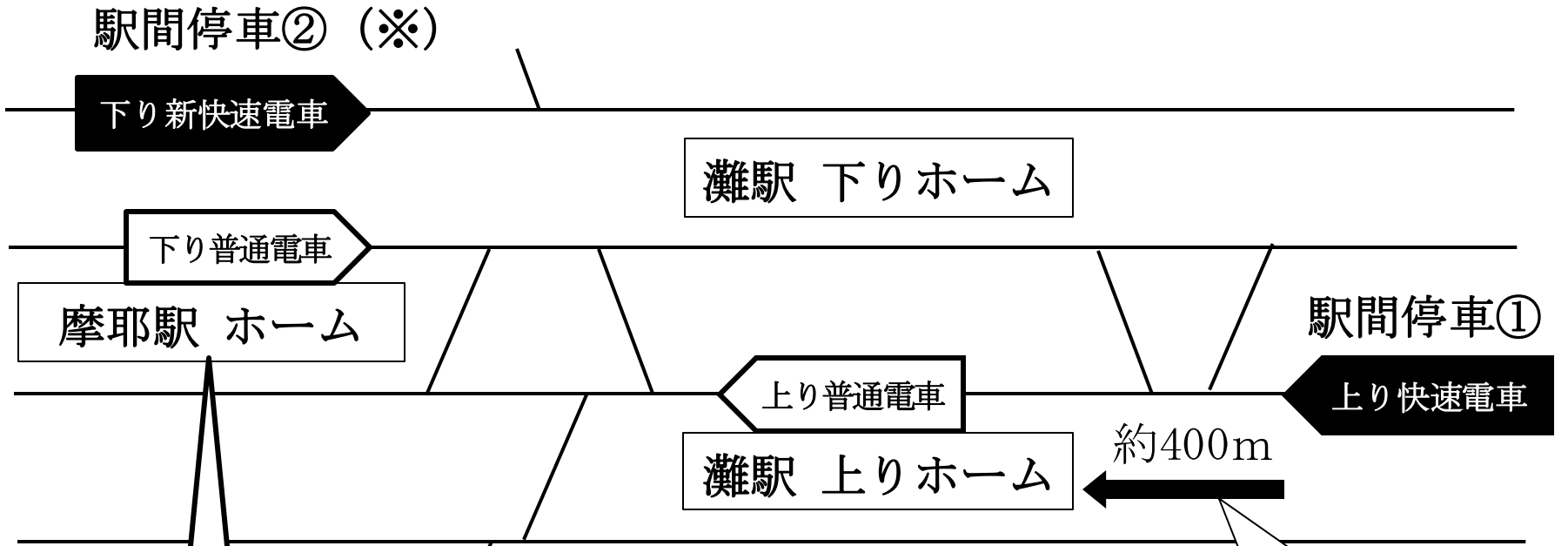
5 対策

- ・信号トラブルの同種事象が発生した際の早期復旧手順を整備します。
- ・お客様誘導の準備と復旧作業を同時に進める手順、体制を改めて整備します。
場合によっては復旧作業を一旦止めてお客様誘導を優先します。

【別紙】 駅間停車列車の状況

←大阪方

姫路方→



お客様には運転士側の前面貫通扉から降車して灘駅まで徒歩で移動していただきました